

## 安全な水産物を食卓へ

### ～登別漁港衛生管理型施設竣工式～

4月3日(火)、登別漁港で『登別漁港衛生管理型施設竣工式』が行われ、水産物荷さばき施設・鮮度保持施設、屋根付き岸壁の完成を祝いました。

水産物荷さばき施設・鮮度保持施設は、いぶり中央漁業協同組合が水産業振興構造改善事業として整備を進めてきたもので、清潔を保持しやすい床材を使用したほか、車輻進入防止の段差設置、収容量20トンの冷蔵設備、自動製氷貯氷設備などを整備しました。

屋根付き岸壁は、北海道開発局が直轄特定漁港漁場整備事業として整備を進めてきたもので、屋根の下での漁獲物の陸揚げができることから、雨や鳥のふんなどの異物混入を防ぐことが可能になりました。

この両施設の整備を一体的に進めたことで、水産物の陸揚げから出荷までの一貫した衛生管理が実現します。

竣工式では、いぶり中央漁業協同組合の米田一雄組合長が「消費者のニーズに応える安心安全な水産物を届けるために努力します」と述べていました。



▲屋根付き岸壁



## 入学おめでとう。車に気を付けて

### ～新入学児童に対する交通安全啓発運動～



4月6日(金)、富岸小学校で『新入学児童に対する交通安全啓発運動』が行われました。

この運動は、新1年生が交通事故に遭わないよう交通安全の啓発をすることを目的に行われているもので、各小学校持ち回りで毎年開催されています。

今年の会場となった富岸小学校の玄関前では、市や室蘭警察署、登別市交通安全協会などから約70人が啓発運動に参加。9時過ぎから真新しいランドセルを背負った新1年生85人が保護者と一緒に登校すると、参加者は記念品などが入った封筒を手渡し、「入学おめでとう。車に気を付けて」と呼び掛けていました。

今年度、市内各小学校の新1年生は合わせて407人(昨年度は415人)でした。

## 素晴らしい資源を持っている登別

### ～健康保養型観光セミナー～

3月30日(金)、市民会館大会議室で『健康保養型観光セミナー』（登別市産業クラスター形成協議会主催）が開かれ、産業クラスター協議会会員や市内観光関連事業者、医療関係者など約40人が出席しました。

このセミナーは、登別の温泉をはじめとする豊富な自然資源や人材資源を活用した健康保養型観光の事業化、健康ツーリズム（心身の健康づくりを主とした滞在型旅行）の受け入れづくりを目的に開かれました。

『健康保養型観光地としての登別の現状と将来について』をテーマに講演した阿岸佑幸さん（北海道大学名誉教授・医学博士）は、「登別は海や温泉、森林などがあり、健康保養地として素晴らしいものを持っています。温泉を入浴だけでなく、さまざまなことに活用すべきです」とアドバイスしていました。

